- 1 医療サービスへのアクセス
- 2 患者の価値観・意向の尊重
- 3 診療情報と患者啓発
- 4 ケアの連携・一貫性
- 5 身体的苦痛の軽減
- 6 心情面への支援
- 7 転退院とケアの継続性

# 小規模比較調査(1病院:入院。外来各50名対象)

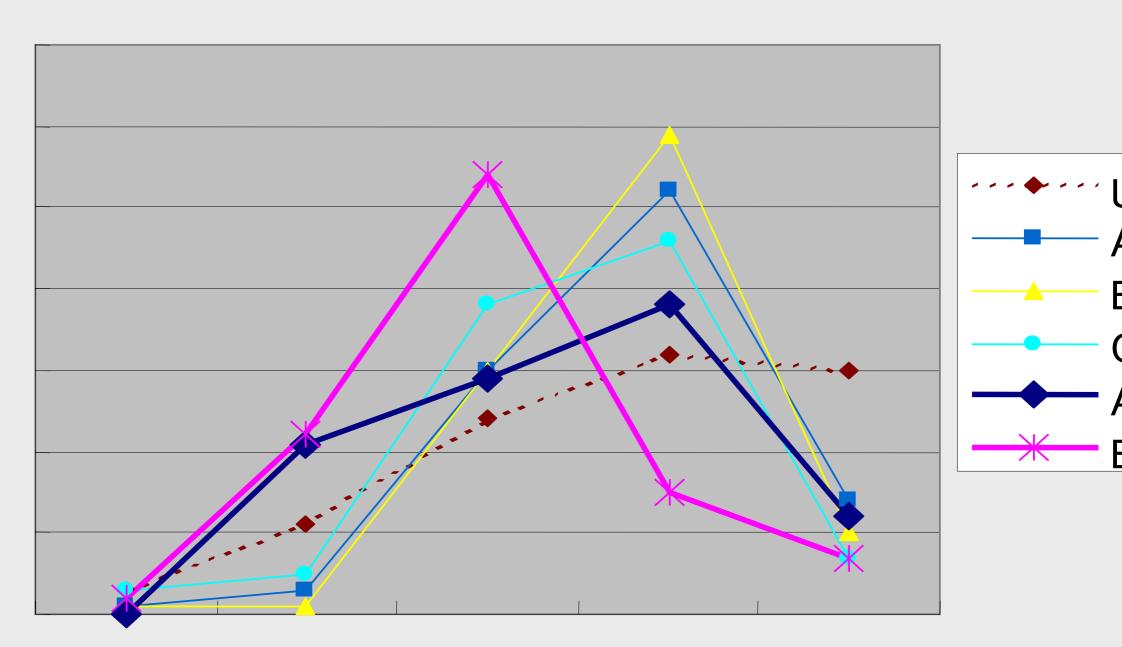
- 2種類の調査票の比較テスト
- 同一患者による回答再現性テスト
- \* 米国データとの参照比較
- 設問・回答表現で回答の分散率が改善する
- 言語表現スケールの回答再現性は確認できた。

# 面接による設問と回答の理解度テスト

(患者体験者 30名対象)

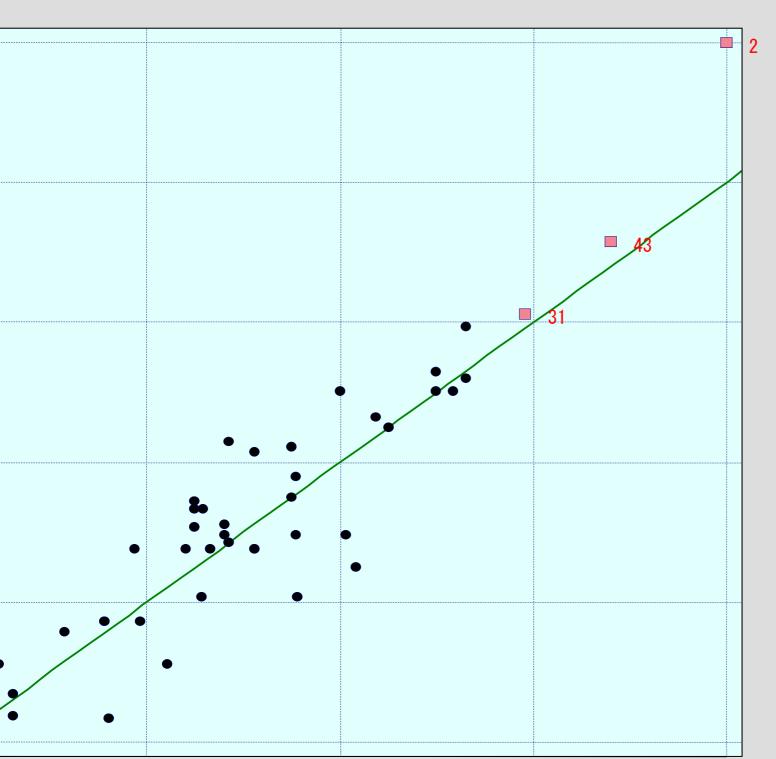
■ 回答スケールが回答者の思考・心理に与えるの確認

## 受診全体を通じての印象をどう感じられましたが



# 病状や治療について、あなたが知りたかったこと 診療担当者から教えてもらえましたか。





項目	横軸	糸
変数番号	3	
変数名	1回目	2
データ数	46	
最小値	0.000	
最大値	0.800	
平均値	0. 3112	
標準偏差	0. 16871	
相関係数	0. 928	

## 入院B票 1回目と2回目の

#### 医療サービス全体についてどう感じられましたか。

# 10ポイントを満点として答えてくださいた 良かった まあまあだった 良かった リ

こく呼びってに	及くはなり、フに	よめみめに フに		
と思った	まあまあだと思った	良いと思った	非常に良いと思った	素晴らし
	スケ	ールの評価		
		ウハの与 キキ -	L 1-	<b>_</b>

スケールの評価				
答えにくかった	答えやすかった	自分の気持ちに 合う答えができた	回答に迷った	肖
4	26	9	5	
0	30	16	2	]  -
0	30	5	5	

ポイントでは何を答えるべきかイメージできない まあまあ」は許容できるレベルと考える人が多い 自分の一方的な感覚なので「と思った」とあるのが答えやで や治療に関する心配や不安について 医療担当者と話せる たか。

	3 ホイントを 満 点 として 合えてくたさい							
	あった			なかった				
	あった		少しだがあっ	った	なかった	担	当者にわ	か
どのスケールが答えやすいか								
答え	にくかった	答え	えやすかった		の気持ちに えができた	回答(	こ迷った	甫
		•						TT

14

イントでは関連ある体験が頭に浮かばない 者択一は「まったくなかった」わけでない場合、回答でき いのでスキップする

21

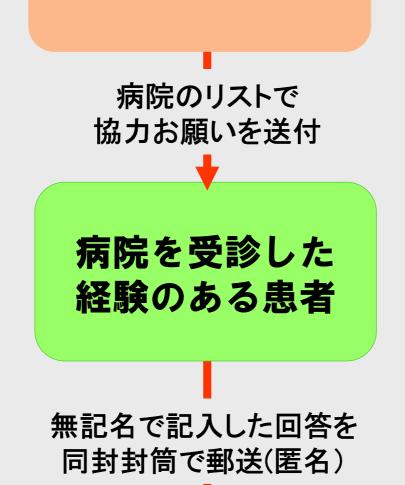
20

者が体験を想起できる言語スケール

した回答が得られるスケール表現の選定

回答を必要とする設問の厳選

|に該当しない人のための回答項目の用意



参考データとして協力病院が参照

病院別 集計分析

集計解析データ

として報告

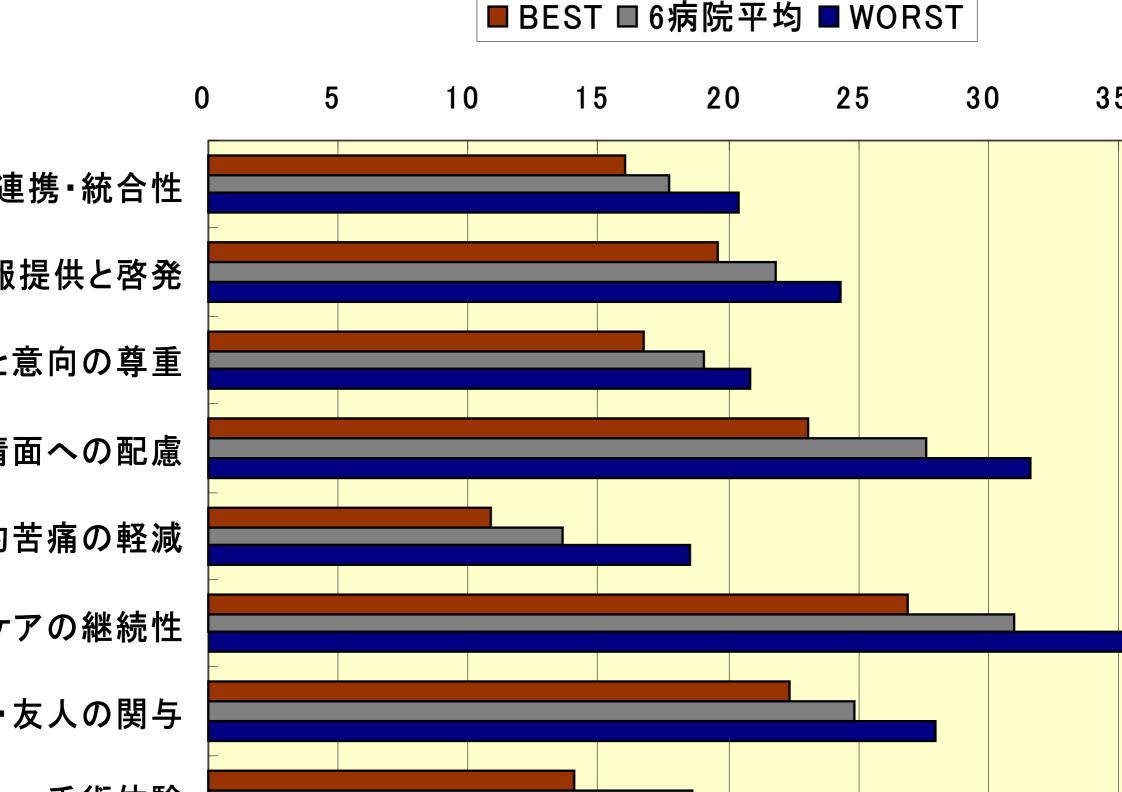
全協力病院 データベース

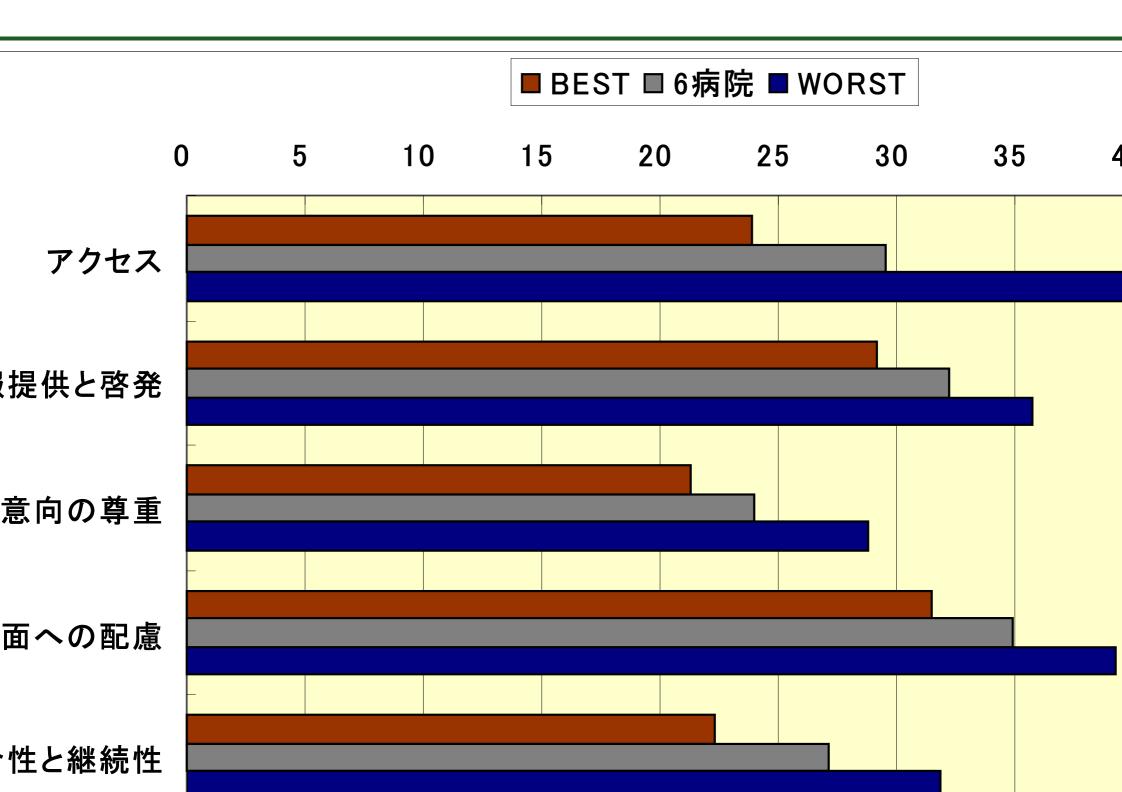
MEDIS 研究会

# 景会件数 18件 分訳

回答期限の照会	5件
家族代筆の可否	2件
* 本人が意識混濁/小児受診	
質問意図の確認	5件
リハビリ通院/直近の受診/診療	
診療経過説明とクレーム相談	3件
誤送?の照会	3件

重複送付/返送封筒がない/無記名の確認





合印象評価	6病院平均	ABC
情らしい・非常に良い入院だった	6.4	6.0
族・友人にすすめる	70.7	68.
イメンジョン問題スコア	6病院平均	ABC编
アの連携・統一性	17.7	20.
報提供と啓発	21.8	24.
句と尊厳の尊重	19.1	20.
青面への配慮	27.7	31.
本的苦痛の軽減	13.6	12.
退院とケアの継続	31.0	28.
<b>佐 -                                   </b>	24.9	25





CC: 連携•統-

IE: 情報提供

RP: 意向の尊

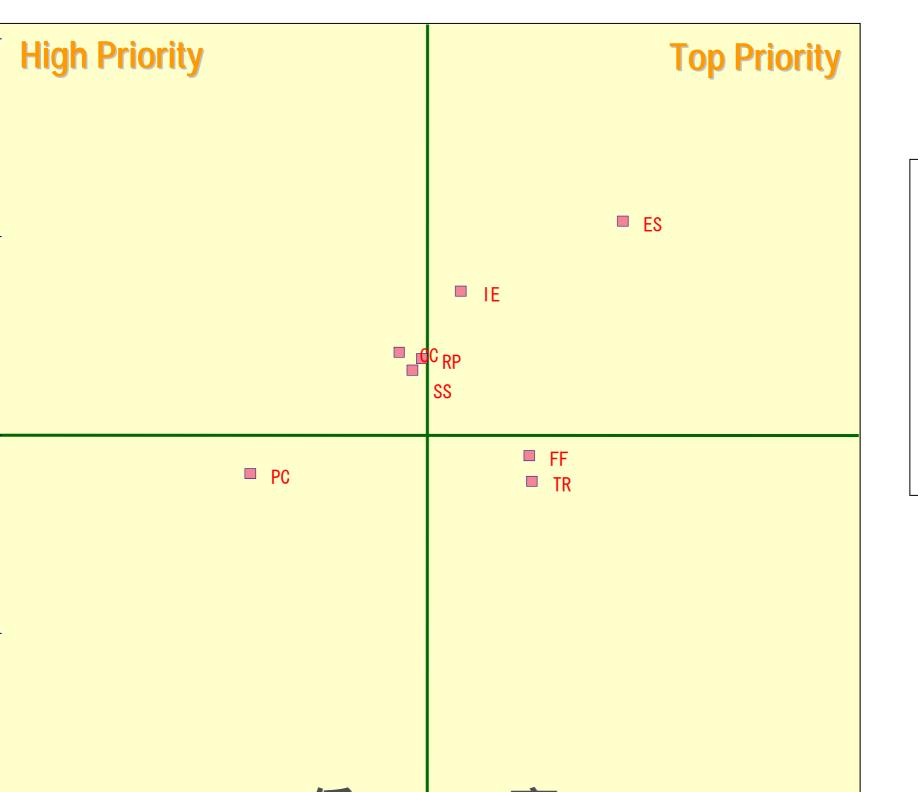
EC: 心情面へ

PC: 身体的苦

TR: 転退院と

FF: 家族·友人

SS: 手術体験



# 手術入

CC: 連携•統-

IE: 情報提供

RP: 意向の尊

EC: 心情面へ

PC: 身体的苦

TR: 転退院と

FF: 家族·友人

SS: 手術体験

## 患者が高く評価した領域

#### 「アの連携・統合性

- ✓ 救急治療室での治療の連携が良かった
- ★ 責任担当医がはっきり決まっていた。

### 気向と尊厳の尊重

- ✓ 医師が目の前の患者を無視した行動をしなかった
- ✓ 看護師が目の前の患者を無視した行動をしなかった 9

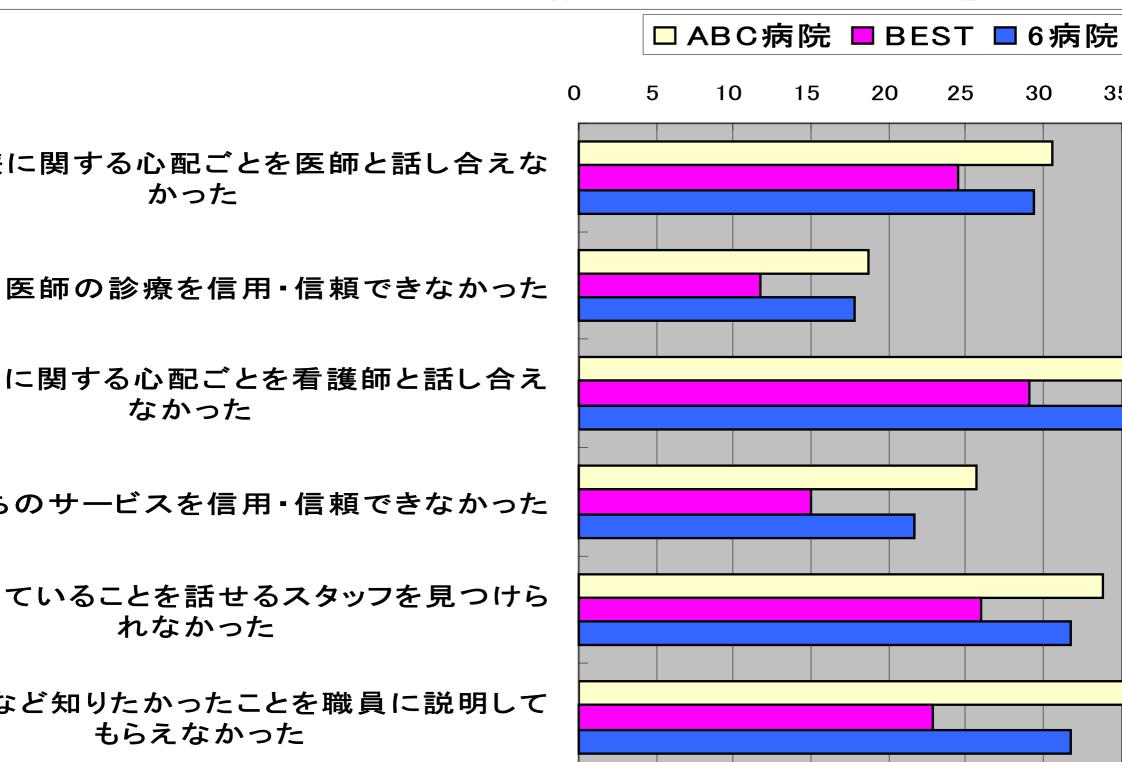
### 体的苦痛の軽減

- ✓ ナースコールへの対応が迅速だった
- ✓ 適切な量の鎮痛剤をくれた

#### 尿族・友人の関与

✓ 家族に病状や治療について説明があった(FF)

#### **攻善を検討すべき領域ー「心情囬への配慮」**



#### **攻善を検討すべき領域ー「情報提供と啓発」**

